



◀「頑張ろう」のかけ声で会場が一体となりました。

伯備新幹線の早期実現を求める総決起大会が10月20日、総合文化ホール「アルテピア」で行われました。開会に先立ち、近藤市長が「今後も発展が見込まれる中海・宍道湖・大山圏域に新幹線ネットワークをつなぐことは魅力向上のため不可欠」とあいさつ。新幹線整備の必要性を強調しました。

大会決議では、建設に必要な国の整備計画への格上げや、地元負担の見直しなどの内容が示され、出席者で結束を強めました。

伯備新幹線の実現に向けて

韓国の児童が市役所を訪問

平成17年から社日小学校と姉妹校の韓国密陽市・守山初等学校の児童12人を含む一行19人が10月9日、市役所を表敬訪問しました。児童たちは10月8日から4日間の日程で社日小を訪問。歓迎会や日本文化の体験、ホームステイなどを行いながら両校の交流を深めました。

面会した美濃副市長から歓迎の言葉を受けた後、児童たちは観光パンフレットを見ながら「安来の名物は何ですか？」などと質問をしていました。



▲市役所前で記念撮影する訪問団。児童たちは社日小学校の児童の家庭に3泊ホームステイしました。

ふるさと年賀状ができました

年賀状でふるさとの魅力を発信しませんか？

島根県と県内市町村が共同で、地域の豊かな自然や景観、キャラクターなどを素材にした年賀状デザインを制作しました。島根県のホームページから無料でダウンロードできます。

安来市は「桜と清水寺の三重塔」「尼子経久像と月山富田城跡」「あらエッサ君」の3種類を用意。画像の大きさはハガキの半分程度です。お持ちのハガキに印刷してご活用ください。



※島根県ホームページ▽県政・統計▽政策・財政▽広聴・広報▽しまねのふるさと年賀状



▶参加者は医療や情報化、子育てなどのテーマに分かれて話し合いました。

未来のまちづくりを話し合い

今年度中に策定する第2次総合計画後期基本計画を市民の皆さんとともに進めていくため、10月27日にまちづくりワークショップを開催しました。同計画は令和2年度から7年度までの6年間のまちづくりの指針となるものです。

公募によって参加した高校生を含む22人の皆さんは、5つのテーマに分かれて話し合い。安来市のまちづくりについて課題を洗い出したり、いろいろなアイデアなどの意見が出されたりしていました。